

2024
2



写真① 調査の様子

コレクション展Ⅲ《特集》「美術の中の物語」展開連 こどものイベント

「美術館探偵”物語”を調査せよ！」

■開催日時：2024年2月18日(日)10:30～12:10

■参加者：子ども11名、保護者8名

■対象：小学生

■場所：レクチャールームと常設展示室

■概要

参加者は美術館探偵になって、学芸員探偵からのミッションについて展示室で調査し、報告し合いました。

■1 学芸員探偵からのミッション

コレクション展Ⅲを調査している「コレクション探偵事務所」から美術館探偵のみんなに作品を調査してもらいたいという設定で進めていきます。

まずは聞き込み。安永探偵と西田所長(ともに当館学芸員)からコレクション展Ⅲや調査する作品についてお話を聞きます。

「コレクション展Ⅲには、物語を元にした絵や彫刻が展示されていて、どんな風に表現されているのかを調査している。しかし、どうも分からない作品がある。それが調査報告書にある作品だ」と言って作品の画像をみんなに見せました。



写真② レクチャーの様子

◇こどもの感想

・作品の物語を聞いて、じっくりと見て考えるのがとても楽しかったです。(小4)

◇保護者の感想

・学芸員さんたちの子どもをひきつけるストーリーが楽しくとても良かったです。作品の前でたくさんお話を聞いた事がとても良かったです！

■2 ミッション1.「橘媛の伝説」を調査せよ！

最初の作品は《橘媛》というヤマトタケルの神話を元につくられていて、そのお話を安永探偵から聞きます。その後は西田所長から調査の注意事項を聞いて、いよいよ展示室に潜入し調査開始！！

作品をじっくりと観察。紙のルーペで細かいところも見ていきます。「思っていたよりも大きい」「右下に穴があいている」など、まずはそれぞれ気づいたことをお話ししました。「お話には誰が出てきた?」「どの場面だろう?」など学芸員探偵の問いかけに、お話を思い出しながらさらに観察します。「真ん中の人が橘媛かな」「波みたいなどころがあるから海にいる」など、推理したことを伝えました。作品の中には、お話に出てきていない謎の人物(生きもの)がいることも...しかし!!調査半ばで、早くも次の依頼が...



写真③ 調査の様子

■3 ミッション2. 事件?男を探れ! 彫刻の部屋で張り込もう!

ミッション1の調査が大詰めの頃に江上探偵(当館学芸員)が「あっちの方に、あやしい男の人の作品がある。事件かもしれないから調査してほしい」と次の調査依頼が持ち込まれました。

「どこだ、どこだ」と展示室の中をみんなで探して調査開始!今回もまずはじっくり観察。「石を着る」「石になれるか」「石を持つ」「石をなげる」というタイトルのさまざまな形の”石と男”が登場する4作品に正面から横から、真剣な眼差しで調査します。男が何をしているのか、石と男がどんな関係なのか気づいたことや推理したことなどを一緒に見ている探偵同士でお話しながら調査を続けていきました。



写真④ 調査の様子

■4 調査まとめ

実は男は作者自身だということを、先に調査してわかってきた江上探偵から教えてもらいました。「はたして事件だったのかな?」という西田所長の問いかけに調査の結果、「石と男が何かしているだけで、事件ではないかもしれない」とみんなで確認しました。

最後に探偵事務所のメンバーから、「みんなに調査してもらったおかげでいろいろなことに気づけた。他にも気になる作品があればぜひ調査して欲しい。その時も今回のようにじっくりと観察し自分なりにいろいろと推理してもらいたい」とお話し今日の調査を終えました。



写真⑤ ふりかえり風景

□展覧会担当からのコメント

美術作品の物語を考えるというのは抽象的で難しいテーマだったと思いますが、担当者の思いもよらぬ解釈を発表する子がいて、とても楽しくイベントを進めることができました。(安永学芸員)